

「平和の鐘」 響け再び記念式



中央公園の2代目「平和の鐘」
(平成26年12月撮影)

平成27年（2015年）8月6日

「平和の鐘」 響け再び実行委員会

ご 寄 稿

平和の鐘に思う

「平和の鐘」響け再び提案者 船越聖示

昭和62年、私は「ふるさと五日市」という写真集を発行いたしました。その中で五日市の鋳物師、入江さんがこの鐘の鋳造に携わってこられたことも書いておいたのです。

昨年、ふとしたことから浜井信三元市長のご子息とお会いする機会がありまして、彼もまた、鐘の取り扱いを残念がっておられることを聞きました。

市民から「広島之父」とも慕われ、尊敬された浜井元市長が広島の廃墟の中から金属片集めに協力を求めたものや、鋳物工場にあった鋳物を集め、できた鐘です。広島市民の祈りなのです。金属集めに協力した市民、鋳物師たち、デザインをしてくれた人に感謝をしたいと思います。かの建築家丹下健三先生の設計図にも平和公園の中央に鐘の設計が含まれていました。

口径1.2m、高さ1.4m、重さ800kg、「ノーモアヒロシマ」の英文と平和の象徴の鳩の羽ばたきが刻みこまれています。昭和24年8月の第3回平和祭で鳴らされた後は、現在の鉄骨の塔に据えられたまま、この鐘は鳴らされることはありませんでした。

かつて、奈良の薬師寺でのお話ですが、西塔の復興には数億の資金が入用になったとき、ある製薬会社の社長が全額の協力を申し入れたそうです。それを断り高田好胤師はできるだけ多くの人の発願を聞きたいと一口1000円の写経を提起し、かの西塔が再建されたと聞いています。

昭和22年以降は「広島平和の鐘」は式典で毎年鳴らされてまいりました。「平和の鐘」の初代のは昭和26年盗難に遭っています。三代目は光元寺、四代目は観音寺から借りうけて式典で鳴らされています。昭和42年以降は香取正彦氏（人間国宝）から寄贈されたものを使っています。鐘の正面に「平和」の文字があります。吉田茂氏の揮毫のもので、（現在は平和記念資料館に展示中）

今年、広島は被爆70周年を迎えます。今年の県民文化賞の荣誉に輝いた広島合唱同好会の皆さんの「ひろしま平和の歌」とともに。

平和の鐘よ響け「広島空」に、「世界のすみずみまでも」

ご 寄 稿

忘れられた「平和の鐘」

広島銅合金鑄造会 会長の遺族 松村伸吉

父 故 松村米吉たち13社の広島銅合金鑄造会が広島市に寄贈した「平和の鐘」は、「鳴らざる鐘」と呼ばれたこともありました。昭和24年8月6日一度だけ鳴らされました。それ以来、平和の祈りのために鳴らされたことがなかったからです。

当時の浜井信三市長の依頼を受け、原爆の焼け跡の金属もその中に溶かし込んで造った鐘は、ずっと公園の木々に囲まれて静かにたたずんでいました。800kgもの鐘は、緑井の作業所から牛や馬に引かれて基町まで運ばれたものです。

鉄骨の鐘楼に据えられて緑の中に埋もれ、半ば忘れられていた鐘が、今年8月6日、平和の祈りとともに再びその役割を果たしてくれることを、天国のオヤジも喜んでくれていると思います。

製造にかかわった遺族の一人として、また被爆者の一人としてお礼を申し上げます。

昭和24年頃、広島市内にあった銅合金鑄造所一覧（調査中） 五十音順

伊井合金所、 市場重工業、 宇品金属工業、 大田鑄造所、 岡田合金所、
※金子合金、 慶徳工業、 坂本重工業、 坂本鑄物、 天満合金、
中島鑄工所 ※中広合金、 中本合金、 野間合金、 ※広島金属鑄造所、
※平賀合金 松戸合金、 ※松村合金所、 ※西本合金三篠鑄造所、
森合金鑄造所、 山福合金所、 山本合金所、

(注1) 平賀繁彦氏（平賀金属工業）松村伸吉氏（松村金属）からの聞き取り及び昭和39年に設立された広島非鉄金属懇話会の会員資料（西本光徳氏・三篠鑄造の提供）を参考に作成した。

(注2) 広島銅合金鑄造会は上記の銅合金鑄造所の中から名乗り出た13社で結成された。会長は松村米吉氏（松村合金所）

(注3) ※印は広島銅合金鑄造会の構成員と確認できた鑄造所。

2代目平和の鐘

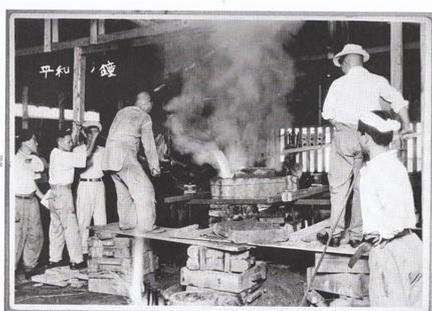


平和の鐘寄贈式

(昭和24年8月5日)

広島銅合金鑄造会と
関係者の皆さん。

中央に当時の市長・浜
井信三氏 ①



「平和の鐘」鑄造現場

安佐郡緑井村にあった広島金属鑄造所で、
関係者総出で命がけの大規模な鑄造作業
が行われた。

写真左上に「平和の鐘」の横断幕が掲示さ
れている。②



2代目「平和の鐘」爆心地へ

安佐郡緑井村で鑄造された「平和の鐘」は
昭和24年8月5日朝、横川駅から荷車で
市内へ。金銀朱塗りの鞍をのせた牛7頭、
馬3頭に引かれて、新しい「平和の鐘」が
相生橋を渡り、旧護国神社前（市民広場）
の鉄骨の平和塔につりさげられた。③



第3回平和祭（平和記念式典）

翌日の8月6日、3千人の市民が市民広場
に参列し、前日に搬入された2代目「平和
の鐘」が打ち鳴らされた。左の写真手前の
鉄骨の塔につられているのが「平和の鐘」。
中央公園ハノーバー庭園近くに現存。④

これまでの平和の鐘



初代「平和の鐘」(昭和 22 年～23 年)

国内の鐘のほとんどは軍部に供出されており鐘が無い。旧海軍払い下げの鐘を所有していた建設業者から借りた。昭和 26 年 3 月盗難に遭い行方不明。⑤



2 代目「平和の鐘」(昭和 24 年)

いつまでも借り物ではいけないと広島銅合金鑄造会が寄贈。ヒロシマから全世界に平和発信するためベル型の鐘とした。「No more Hiroshimas」の英文と平和の象徴の鳩の羽ばたきが刻み込まれている。口径 1.2m、高さ 1.4m、重さ 800 kg ⑥

(注) 昭和 25 年は式典中止。昭和 26 年は式典再開するも鐘を不使用



3 代目「平和の鐘」(昭和 27 年～39 年)

広島市西区中広町・光元寺の半鐘を借りて 13 年間使用。光元寺の住職の子息(小田正人氏)が寺宝として大切に保管されていたが平成 24 年広島市に寄贈。平和記念資料館所蔵⑦



4 代目「平和の鐘」(昭和 40 年～41 年)

元宇品の観音寺(禅宗)の半鐘を借り受けて、2 年間使用。現在も観音寺の半鐘として使用されている。⑧



5 代目「平和の鐘」(昭和 42 年～現在)

昭和 42 年から約半世紀、毎年使用されている。鑄金工芸作家・香取正彦氏(人間国宝)から寄贈された。高さ 77cm、重さ 90kg。鐘の表面の文字「平和」は吉田茂氏の揮毫。平和記念資料館に展示中。⑨

案内図・平和宣言

広島市中央公園案内図（平和の鐘の位置）



平和宣言

4年前のきょうは、われらの父祖の都市が一瞬にして暗黒の巷と化し、10数万の市民がその尊い命を捨てた日である。しかしこの戦災は戦争による人類破滅の危険を示唆するとともに、戦争のために傾注せられた人間の努力と創意をもってすれば、世界平和の建設が決して不可能でないことを確信せしめた。この教訓にもとづき真剣に平和への道を追求することこそ世界人類に対する最大の貢献であり、地下に眠る市民の犠牲の意義あらしめる最善の道でなければならない。

いまやわれら広島市民の過去の小さな努力は漸く世界の人々の共感を呼び、8月6日を世界平和日に指定し広島を世界平和センターたらしめようとする運動が広く全世界に展開せられ、また永遠に戦争を防止する強力な世界組織樹立運動が漸次拡大されつつあることは実に欣快にたえない。さきに日本国会を満場一致で通過した広島平和記念都市建設法も本日付けをもって公布実施せられる。

われら広島市民はここに四たび平和式典を営み再び第二の広島が地上に現出しないよう誠心こめて祈念するとともに、世界各地の平和愛好者と相提携して原子力時代をして恒久平和と新たな人間文化創造の輝かしい時代たらしめるべく献身せんことを誓うものである。この地上より戦争と戦争の恐怖と罪悪とを一掃して真実の平和を確立しよう、永遠に戦争を放棄し世界平和の理念を地上に建設しよう。戦災4周年を迎えわれらはかくの如く宣言する。

昭和24年(1949年)8月6日

広島市長 浜井信三

ひろしま平和の歌

作詞 重園賛雄

作曲 山本 秀

- 1 雲白くたなびくところ
空のはて東に西に
おお高くこだまひびけと
鐘は鳴る平和の鐘に
いまわれら雄々しく起ちて
その栄えここに興さん
- 2 波青くたゆとおとところ
海のはて南に北に
おお遠く祈りとどけと
鐘は鳴る平和の鐘に
いまわれら試練を越えて
その行く手ここに仰がん
- 3 風清くかがやくところ
国のはて世界の友に
おお熱く想いかよえと
鐘は鳴る平和の鐘に
いまわれら手をさし伸べて
その睦みここに歌わん

くもしろく たなびくところそ
Ku - mo shiro - ku ta - na - bi - ku to - ko - ro, So -
らのはて ひがしににしにお
ra no ha - te hi - ga - shi ni ni - shi ni, O -
おたかくこだまひびけと か
o ta - ka - ku ko - da - ma hi - bi - ke to, Ka -
ねはなる 平和のかねにい
ne wa na - ru he - i - wa no ka - ne ni, I -
まわれら おおしくたちてそ
ma wa - re - ra o - o - shi - ku ta - chi - te, So -
のさかえ ここにおこさん
no sa - ka - e ko - ko ni o - ko - san.

写真提供者一覧

- ① ② ⑥ 松村伸吉氏 ③ ④ ⑤ 中国新聞社
⑧ 観音寺 ⑦ ⑨ (財)広島平和記念資料館

「平和の鐘」響け再び実行委員会 (50音順)

石丸紀興 高東博視 (代表) 瀧口信二 (事務局) 通谷 章 野口喜三子
野坂忠守 船越聖示 (提案者) 前岡智之 松波龍一 三宅恭次
事務局連絡先 〒733-0002 広島市西区楠町1-9-7
広島アイデアコンペ実行委員会事務局内
E-mail hiroshima.idea.c@urban.jp 携帯 090-8604-7833